

<「知るっば！久留米」 令和3年6月24日(木) 12:30～放送分>

## 筑後川と防災 ～第4回～ 「大雨の時の行動」

<ゲスト：筑後川防災施設くるめウス 川嶋 睦己さん>

坂本 MC (以下「坂本」)

「知るっば久留米」ナビゲーターの坂本豊信です。

今月は、『筑後川と防災』をテーマにお送りしてきました。ゲストはこの方です！

ゲスト:川嶋さん(以下「川嶋」)

「筑後川防災施設くるめウス」の川嶋睦己です。よろしくお願いします。

坂本 『筑後川と防災』シリーズ最終回です。

4回目の今日は、『大雨の時の行動』についてお話を伺います。

まずは、大雨が降る前には、どんなことに備えておくといいでしょうか？

川嶋 梅雨時期は特に、天気予報をこまめにチェックすることが大事です。

そして、日頃から各家庭に配られているハザードマップを確認し、

自分が住んでいる地域がどれくらい浸水するか、土砂崩れが起きやすいかなどを調べ、

安全な避難場所とそこまでの避難経路、避難開始を行うタイミング等を考えておく必要があります。

久留米市のハザードマップは、紙だけでなくスマートフォンからアクセスできる「Web 版」もあります。

位置情報と連動して避難所へのルートを検索できますので、一度、パソコンやスマートフォンで久留米市の公式ホームページから「Web 版ハザードマップ」をご覧いただきたいと思います。

また、避難する際の非常用持ち出し品、こちらもご準備いただきたいと思います。

3日分の飲料水、懐中電灯、携帯ラジオ、タオルやティッシュ、貴重品、衛生用品、携帯トイレ、スマートフォンの充電機器、マスク、アルコール消毒、こういったものがあると便利です。

個人個人に合わせて、必要なものをご用意いただきたいと思います。

雨の日の履物はゴム長靴のイメージがありますが、

大雨で避難をする際は、必ず動きやすい運動靴で避難をしていただきたいと思います。

坂本 大雨に備えるだけでも色々なことがありますよね。

実際に、大雨になった時はどうするといいたいでしょうか？

まず、最初にやるべきことから教えてください。

川嶋 大雨が降るときは、雷や強風にも注意が必要となります。

天気が落ち着いているときは、複数の人と安全な道を通って避難をしましょう。

ただ、風雨が強くなっている時は、頑丈な建物へ避難することが大切です。

例えば、自宅が鉄筋コンクリート製のアパートやマンションであれば、

その場にとどまることも避難になります。

なによりもまず、安全な場所で身の安全を確保してください。

坂本 水が入ってきにくい、高いところとか安全な場所を確保することが大事なんですね。  
他にも大雨の時に気を付ける点はありますか？

川嶋 はい、自治体が発令する避難情報に注意していただきたいと思います。  
去年までは、「避難勧告」と「避難指示」の両方の表現がありましたが、  
今年の5月20日からは「避難指示」に一本化されました。  
そして、避難情報の大幅な変更につながる災害対策基本法の改正がなされました。  
これによりまして、避難が必要になるレベル3が「高齢者等避難」、レベル4が「避難指示」、  
すでに災害が起きている状態のレベル5が「緊急安全確保」という表現になります。  
それぞれの段階で取るべき行動を確認しておいていただきたいと思います。

坂本 その中で最も大事な「避難指示」の場合、どのような避難をするといいてしょうか？

川嶋 避難所に必ず移動しておくということではなく、建物の2階以上ですとか、崖の反対側など、  
少しでも安全な場所で命が助かるような行動を取っていただきたいと思います。  
レベル4の「避難指示」が出た段階で、各自が安全な場所を確保することが求められています。  
避難情報の有無にかかわらず、身の危険を感じたら早め早めの行動をとっていただくことが  
一番重要とされています。

坂本 避難情報が出たときは、特に注意が必要なんですけれども、  
目の前の状況を判断することも大事だということですよ。  
知り合いの家とか、実家とかホテルとかそういったところの避難もアリですよ。

川嶋 そうですね。そういったところへの避難も検討いただけたらと思います。

坂本 他にやってはいけないこと、これはどんなことがあるんでしょうか？

川嶋 気を付けていただきたいことなんですが、まずこれは当たり前のことにはなるんですけども、  
河川や用水路、冠水した場所には近づかないでください。  
水が増えていると道路と用水路の境目がわからなくなったりですとか、  
マンホールのふたが外れてしまっている場所に落ちたりする危険性が高まります。  
車を運転しているときは、高架下などにあるアンダーパスですとか、  
周りより低くなっている場所には近づかない。  
山道を通っているときは、斜面から離れた場所にとどまって無理に移動しないなど、  
こういった対策をお願いしたいと思います。

坂本 はい、わかりました。大雨になった時に慌てないように、日頃から自分や家族の身をどう守るかを考えることが大事ですね。  
最後に、川嶋さんから市民のみなさんにメッセージをお願いします。

川嶋 はい、ありがとうございます。  
記録的な豪雨をもたらす線状降水帯、これは温暖化等が原因で今後ますます頻繁に発生すると予想されています。  
ですので、自分の命は自分で守る。  
そして、十分な備えて自分の安全を確保したうえで、  
周りの人達、特に支援が必要な人達に手を差し伸べていただけたらと思います。  
みなさん、よろしくお願いします。

坂本 大事なお話を最後にお聞きしました。  
川嶋さん、1カ月間、興味深いお話をありがとうございました。  
久留米市新合川の筑後川防災施設くるめウスは、毎週月曜日が休館日です。  
利用時間は、午前9時30分から午後5時まで、入館料は無料です。  
7月は『水天宮』をテーマにお送りします。  
おたのしみに。